**◆記憶装置（HDD & SSD）とWin OSサポート期間
●HDD（ハードディスクドライブ）**

HDDは通常、デスクトップパソコンとノートパソコンに搭載されていて可動部品があることから、寿命が比較的短い場合が多くなっています。

HDDの平均寿命は、ブランドやタイプ、サイズ、インターフェース方式など多くの要素で変わってきますが、**およそ4年が平均**と考えてください。

オンライン・バックアップサービスを提供する「Backblaze」が、自社で使っているHDDを調査したところ、約80％が4年間持ちこたえていることが判りました。

それはもちろん、20％が4年以内に壊れたということであり、そのほとんどは3年目で動かなくなりました。
また、使っているHDDのブランドによっても違いが出てきます。例えば、Backblazeのテストでは、Seagate製のHDDは、

Western Digitalや日立のものに比べて頻繁に壊れています。
簡単に結論を言えば、データのバックアップを取りHDDの不具合を検知して知らせてくれるアラートに目を光らせ、**保証期間を忘れないようにしておきましょう。**

**大抵のものは2、3年に設定されています。**

実際には、保証期間を過ぎてもまだまだ現役でいられるHDDもありますが、**保証が切れたあとはいつ壊れてもおかしくないと覚悟しておきましょう。**●SSD（ソリッドステートドライブ）

SSDは、ノートパソコンでもデスクトップパソコンでも、そのスピードの速さからかなりの人気を呼んでいます。SSDの耐久性は、HDDとはまた別です。
「SSDはデータ読み書きの回数が制限されているから気をつけたほうが良い」という話を耳にするかもしれません。

けれども実際は、一般消費者向けSSDは、ごく普通に使っている限り驚くほど長持ちします。

「TechReport」が実施した有名なSSDの耐久テストから、さほど心配する必要はないことが判りました。

一般消費者向けのSSDでさえ、700TBをゆうに超えるデータを読み書きしても、まだ壊れなかったのです。
これらの**SSDには通常、3年から5年の保証がついています**。

メーカー側は、一般消費者による使用で1日に書きかえられるデータの量を20GBから40GBと見積もっています。

700TBに達するには、1日40GBのデータの書き込みを1万7500日（およそ50年）続けなければならない計算になります。

だからといって、自分のSSDを粗末に扱っても良いとか、ほかに問題があっても壊れないというわけではありません。

でも、SSDを酷使しているから壊れるかもしれない、と心配しているなら、どうぞご安心ください。
言うまでもありませんが、こうした**データはすべて平均的なものです。**

状況はさまざまであり、一生壊れない優秀なドライブにめぐり会えるかもしれないし、箱から出して数日で動かなくなるドライブに当たってしまう場合もあるでしょう。
だからこそ、**データをつねにバックアップしておくことが大切**なのです。なおかつ、**信頼の置けるブランドの、確実な保証がついたドライブを使いましょう。**

では、記録媒体は以上でご理解頂けたことと思いますのでWindows OSのサポート期間に関して見てみましょう。

|  |
| --- |
| Windows のサポート ライフサイクル日程 |
| **製品名** | **ライフサイクル開始日** | **メインストリームサポート終了日** | **延長サポート終了日** | **サービス パックサポート終了日** |
| Windows XP | 2001 年 12 月 31 日 | 2009 年 4 月 14 日 | 2014 年 4 月 8 日 | 2005 年 8 月 30 日 |
| Windows Vista | 2007 年 1 月 25 日 | 2012 年 4 月 10 日 | 2017 年 4 月 11 日 | 2010 年 4 月 13 日 |
| Windows 7 | 2009 年 10 月 22 日 | 2015 年 1 月 13 日 | 2020 年 1 月 14 日 | 2013 年 4 月 9 日 |
| Windows 8/8.1 | 2012 年 10 月 30 日 | 2018 年 1 月 9 日 | 2023 年 1 月 10 日 | 2016 年 1 月 12 日 |

この表からも判りますが、OSのサポート期間は平均で凡そ６-７年です。

MicrosoftのこのOSサポート期間が短いか？長いか？はさておき、

要は**OSのサポート期間が終了する以前にパソコン本体のHDDが壊れる確率の方が遥かに高い！**と言えます。

また、**今後、新規にパソコン購入を考えるのであれば以上のような理由から、HDD搭載パソコンよりも多少、高価でもSSD搭載パソコンでしょうね。**